

サリドマイドの薬価について 患者さんと医療者の方々へ

サリドマイドの薬価が決定しました

本日（2008年12月3日）、中央社会保険医療協議会において、サリドマイドの薬価（薬の値段）が決まりました。

1カプセル（100mg）6,570円です。

これは、私たちの希望していた水準を大幅に上回るものです。

国民健康保険3割負担の患者さんの場合、自己負担額は1カプセル1,971円で、一日100mgを服用する患者さんでは、1ヶ月（30日）のサリドマイドにかかる費用が59,130円になります。

薬の値段は、薬価算定基準（薬の値段を決めるための公的なルール）に則って決められます。製薬会社から提出された資料を行政当局が適正かどうか詳しく調べたり、製薬企業と交渉したりした結果決まります。

その過程において、行政の担当である厚生労働省保険局医療課へ、私たちの希望を伝える機会を得、8年にも亘る長期間続いた個人輸入によって形成された患者や医療現場がもつ価格相場観や、承認薬になれば保険適用で個人輸入より安くなると、ごく自然に抱いている期待等を伝え、交渉に反映していただくようお願いしました。

同時に、製薬会社にも薬価において患者や医療者が製薬会社に期待するところを伝え、配慮をお願いしました。

結果は満足できるものではありませんが、薬価は算定基準に則って決められたことであり、どうすることもできないと考えています。

保険局医療課の方々には、患者の気持ちを汲んで交渉にあたってくださったことに感謝しています。

なぜ個人輸入薬より承認薬が高くなるのか

多くの患者さんは、承認薬になれば保険適用になり、個人輸入より安くなると心待ちにされていたことと思います。

現在、個人輸入では100mg1個600円～1,600円程度で購入できます。これら個人輸入薬には安全管理にかかるコストが含まれていませんが、承認されたサリドマイドには、安全管理のコストが薬価に反映するため高額になっています。

日本と同様に、安全管理のシステム導入の上承認されているアメリカでは2万円弱/100mgで、イギリスでは4千数百円/100mgで承認薬として処方されています。

安全管理のシステムは、サリドマイドで治療するにおいて、患者さん、患者の家族の方々、その周囲の方々が安全に治療するためには必要なシステムで、承認の条件でした。

また、承認薬には、品質や供給の安定が約束されたり、副作用被害対策があったりする等さまざまなメリットがあります。個人輸入で特別な不都合がなかった方には、理解しにくいかもしれませんが、安全に確実にサリドマイド治療を受けるには、そして未承認であるがゆえにサリドマイドで治療ができない病院にかかっている患者さんにとっては、サリドマイドは承認される必要がありました。

骨髄腫患者の会の今後の取組み

6,570 円という薬価が患者さんにとって重い負担となることは重々承知していますし、経済的な理由によってサリドマイド治療を諦める患者さんがでてはならないとも思います。

今後何らかの医療費負担の軽減策によって、サリドマイド治療の必要な患者さんが経済的理由により治療を躊躇することがないように、各方面と相談の上行政に求めていく所存です。方針が固まり次第、お知らせしますので患者や家族の方々、医療者の方々のご協力をお願いします。

個人輸入薬から承認薬への移行について

承認薬のサリドマイドは近々、病院での処方が始まることと思います。ただし、安全管理システムの導入の必要があり、製薬会社が順次各病院への説明をしますので、処方可能なすべての医療機関に承認薬が行き渡るには時間がかかり、それまでの間は個人輸入を続ける必要があります。

この先、承認薬に移行するまでの間、どの程度の量を個人輸入すればよいか等、できるだけ詳しく情報をお伝えします。医療費に関することも含め、サリドマイドに関して相談されたいことがありましたら、owner-imfjapan@myeloma.gr.jpにご連絡ください。

さいごに

患者さんの期待に応えるため、できること総てにベストを尽くしましたが、至らない結果となり申し訳ありませんでした。

経済的な理由でサリドマイド治療を諦める方を一人でも減らせるよう、今後更に努力をする所存です。

2008年12月3日
日本骨髄腫患者の会
副代表 上甲 恭子

日本骨髄腫患者の会 サリドマイド担当 じょうこう 上甲 恭子

電話 090-6908-2189

Eメール owner-imfjapan@myeloma.gr.jp